

シリーズ

赤ちゃん
うまれて

えがったなあ

♥名前の由来は何ですか？

青く澄んだ美しい海のような広い心を持った、優しく思いやりがあり、周りからも愛される陽の当たる人生を歩んでほしいと願いを込め命名しました。

♥舟形町での育児はどうですか？

様々な子育て事業があり、他のパパママや赤ちゃんとのふれあいができ、毎回楽しみに参加しています。

♥舟形町のいいところ・改善してほしいところは？

自然や公園がたくさんあり、子育て応援サポート事業が充実しているところです。改善してほしいところは、休日等に何か困ったときに相談できるような体制があると心強いです。

♥舟形町に望むことはありますか？

町子ども達元気いっぱい遊べるような遊具施設があると嬉しいです！

【お願い】「えがったなあ」に出てみませんか。

舟形町に嫁いでこられたお嫁さん・お婿さん、その他「えがったなあ」に出てみたい方を募集します。

(連絡先) 舟形町役場議会事務局 ☎32-0030 (直通)



今回は、西堀の

伊藤峻介さん・有咲さんのお子さんの琉陽くんです。

皆さんよろしくお祈りします。

声

私は富田町内に住んでおり、建設業に従事しています。

東日本大震災以降、被災地の災害復旧工事や交通インフラを支える東北中央道の建設、昨年の最上川氾濫に伴う緊急地水対策プロジェクト等の現場に携わってきました。

近年、気候変動等の影響により、気象災害が激甚化、頻発化しています。舟形町においても、大雨による道路・住宅地の冠水や河川の増水等の災害が多発しています。私は消防団に在籍していますが、火災よりも災害対応に出動する機会の方が多くなっています。

消防団は、地域防災力の中核を担うとされています。しかし、ライフラインを強化し、維持していかなければ、災害対応を迅速に行う事はできません。

人命、財産の被害を防止する為、災害に強い舟形町の実現を期待しています。



石山 裕治 さん
(富田一)

(議会より)
地域住民の安全安心のため、活動されている事に感謝しております。議会としても応援して参ります。

皆さんの声を掲載する欄です。議会に対するご意見・ご要望等、どうぞお気軽にお寄せくださるようお願いいたします。

編集後記

新年度がスタートし、コロナ感染拡大の影響で心配された、ほほえみ保育園の入園式、小中学校の入学式も無事終了し、ピカピカの1年生31名、新中学1年生35名は期待と不安を抱きながら登校が始まったことと思います。舟形町の宝である子ども達に心からお祝いを申し上げます。

新年度に伴い議会報モニターさんも新しい顔ぶれになりました。貴重なご意見をいただき、新しい手法を取り入れながら皆様から読んでいただける広報紙づくりに努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

(荒澤 広光 記)

発行責任者

議長 八 欽 太
議会広報常任委員会
委員長 小国 浩 文
副委員長 石山 和 春
委員 伊藤 欽 一
委員 荒澤 広 光
委員 叶 内 昌 樹